

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学経営協議会
(平成16年度第7回)議事要旨

1. 日 時 平成17年3月16日(水)14:00~16:10
2. 場 所 奈良ホテル本館1階 金剛の間
3. 出席者 鳥居学長(議長)
安田理事、山本理事、北田理事
新本委員、江口委員、田中委員、三木委員
- 欠席者 相磯委員
- 監 事 佐藤監事
- (事務局) 井之上総務部長、小島研究協力部長、田保橋総務課長、末永会計課長、
荒井施設課長、中嶋研究協力課長、松原学術情報課長、田口学生課課
長補佐(学生課長代理)、中條企画室専門員、松山企画室秘書係長、
北村企画室員

(配付資料一覧)

- 1 - 1 . 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学経営協議会(平成16年度第5回)議事要旨(案)
- 1 - 2 . 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学経営協議会(平成16年度第6回)議事要旨(案)
- 2 . 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 次期理事・研究科長名簿
- 3 . 平成17年度 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 年度計画(案)
- 4 - 1 . 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学教育研究系非常勤職員就業規則の制定(案)
- 4 - 2 . 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学教育研究系非常勤職員(定時勤務)給与規程の制定(案)
- 4 - 3 . 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学教育研究系非常勤職員(短時間勤務)給与規程の制定(案)
- 5 . 常勤の理事及び監事の基本給決定にかかる取扱い基準(案)
- 6 . 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 平成17年度 予算編成方針及び予算配分基本方針について(案)
- 7 . 平成17年度役員会等の開催日程(案)

議事に先立ち、監事及び部課長の自己紹介が行われた。

4. 議 事

(前回議事要旨の確認)

前回議事要旨 (資料 1 - 1、 1 - 2) について、承認された。

(報告事項)

(1) 次期理事・研究科長等の決定について

安田理事から、資料 2 に基づき、次期学長への就任に伴い、次期理事及び研究科長を次のとおり決定した旨の報告が行われた。

【理事】

山 本 平 一 (現本学理事)

磯 貝 彰 (現本学バイオサイエンス研究科長)

北 田 憲 治 (現本学理事)

【理事 (非常勤) 】

村 井 眞 二 (現 (独) 科学技術振興機構研究成果活用プラザ大阪館長)

【情報科学研究科長】

千 原 國 宏 (現本学情報科学研究科長)

【バイオサイエンス研究科長】

小笠原 直 毅 (現本学情報科学研究科教授)

【物質創成科学研究科長】

片 岡 幹 雄 (現本学物質創成科学研究科長)

引き続き、経営協議会学外委員について、現委員に来期も継続して就任願うこととしたい旨の発言が行われ、了承された。

(審議事項)

(1) 年度計画 (平成 1 7 年度) の提出について

安田理事から、資料 3 に基づき、年度計画 (平成 1 7 年度) について、概要説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

委員からの主な意見、提言等は、次のとおり。

- ・人事管理については、我が国が向かうべき方向性や社会のニーズを把握し、これに即した人事方針のもとに前倒し人事等を行うべきである。
- ・幹部事務職員については、現在の交流人事を見直し、必要な職種については、経験や知識の蓄積が可能となる体制が必要である。
- ・産官学連携については、共同研究支援体制や知的財産の取扱い等のルールを整備し、企業と大学双方の目的が達成できるものにすべきである。
- ・企業や学生に対する N A I S T のブランド力の向上を目指すべきである。
- ・大学ホームページについては、工夫すればするほど実効性が上がるので、ぜひ重点的に取り組むべきである。
- ・情報科学・バイオサイエンス・物質創成科学に加え、今後は、環境分野が重視されると思われる。
- ・プロジェクト形式の事業やマーケティングを通じて、教員と職員が協働して大学運営を行い、互いの職能の向上を図ることが重要である。

(2) 教育研究系非常勤職員に関する諸規程の制定について

安田理事から、資料4 - 1から4 - 3に基づき、教育研究系非常勤職員就業規則及び各給与規程について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

(3) 役員報酬について

安田理事から、資料5に基づき、学長を除く役員の報酬決定の内規について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

(4) 平成17年度予算配分について

北田理事から、資料6に基づき、平成17年度予算配分の概要について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

(その他)

(1) 平成17年度経営協議会日程について

議長から、資料7に基づき、来年度の経営協議会日程について説明が行われ、協議の結果、改めて日程調整を行うこととなった。

(2) 議長から、今年度末で学長としての任期が満了するに当たり、挨拶及び謝辞が述べられた。

以 上